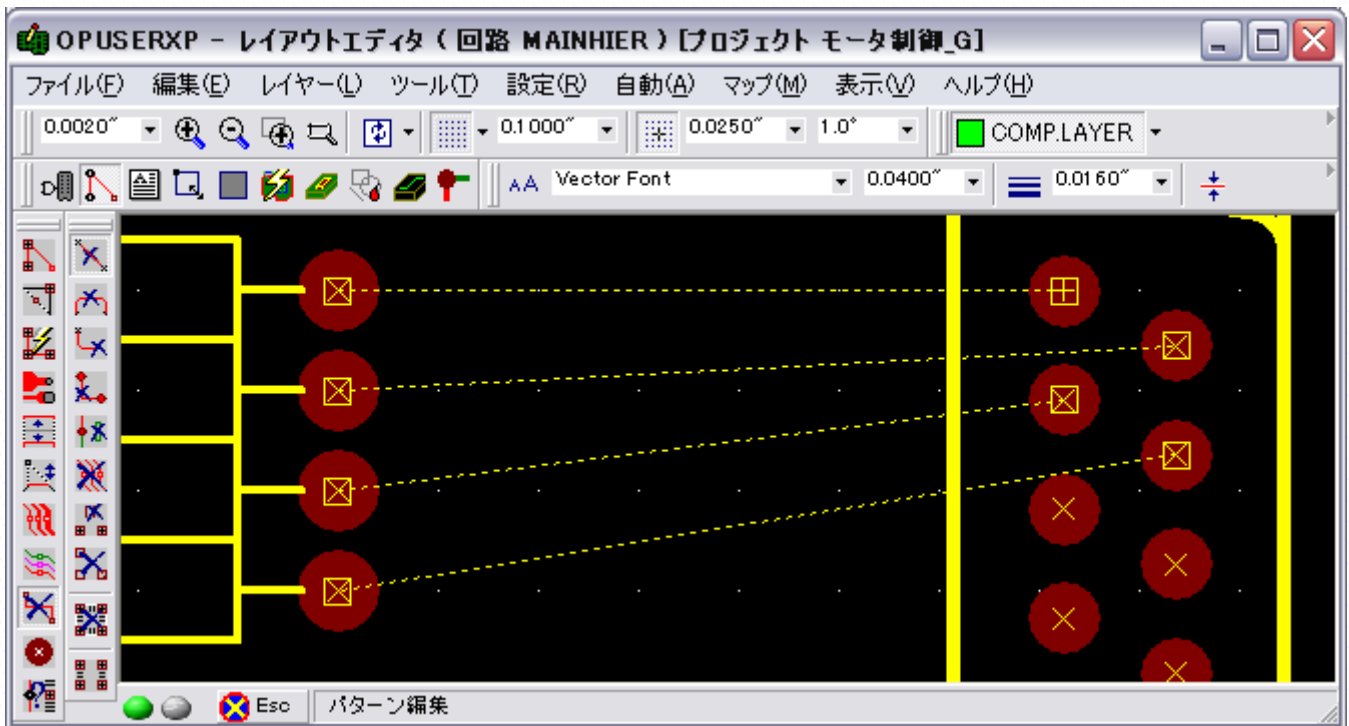


# 1. パラレルルーティング

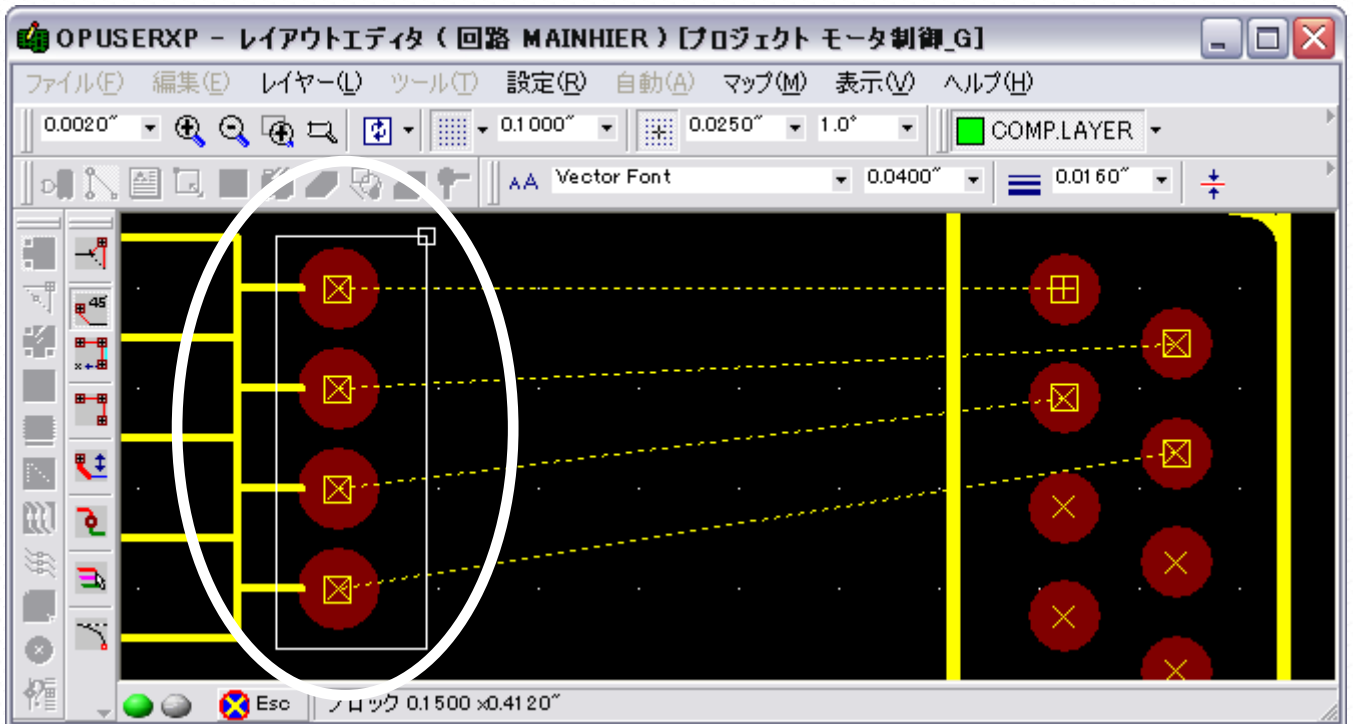
下図の用に4つのピンから並行してキャパシタへとパターンを接続する箇所の場合、パラレルルーティングを使用すると、作業を楽に行う事ができます。



通常の配線と同じく、配線面、パターン幅の設定を行い、ツールをパターン作成へと変更します。



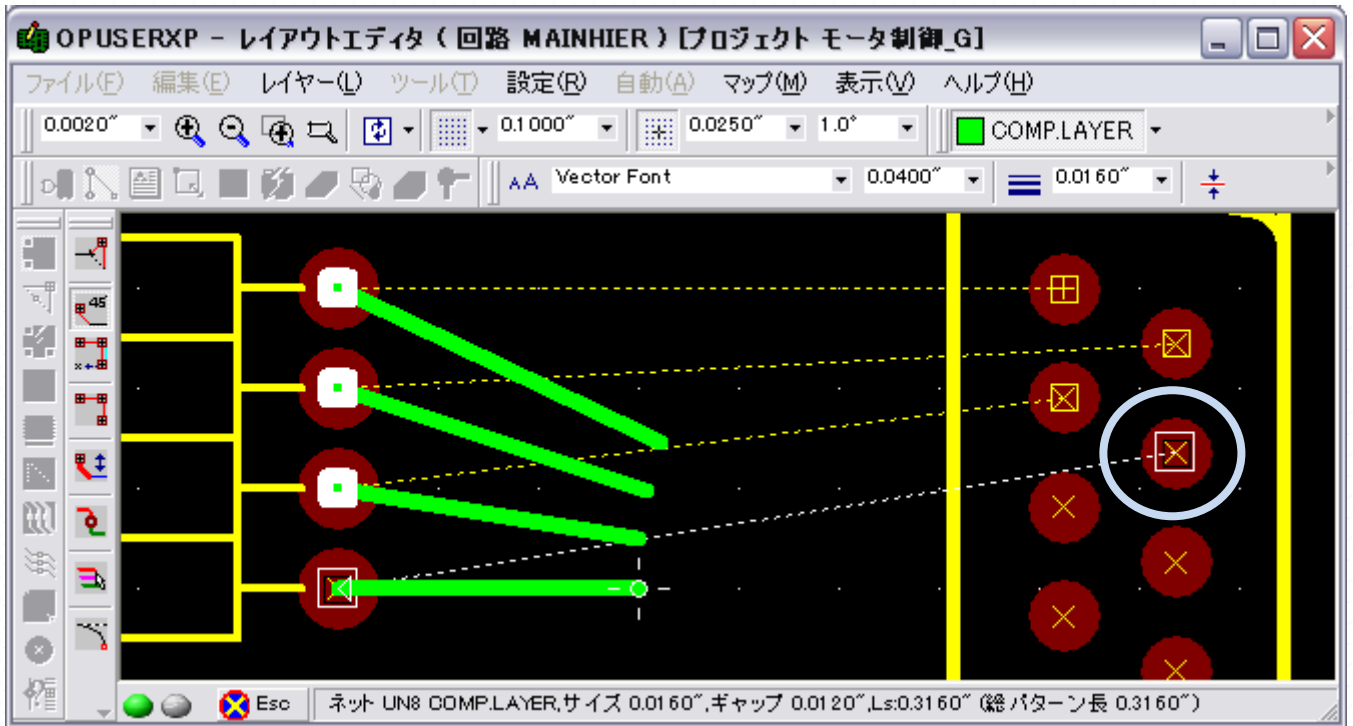
キーボード “Shift+E” を押し、今回の4つパッドを、「クリック・クリック」四角で囲みます。



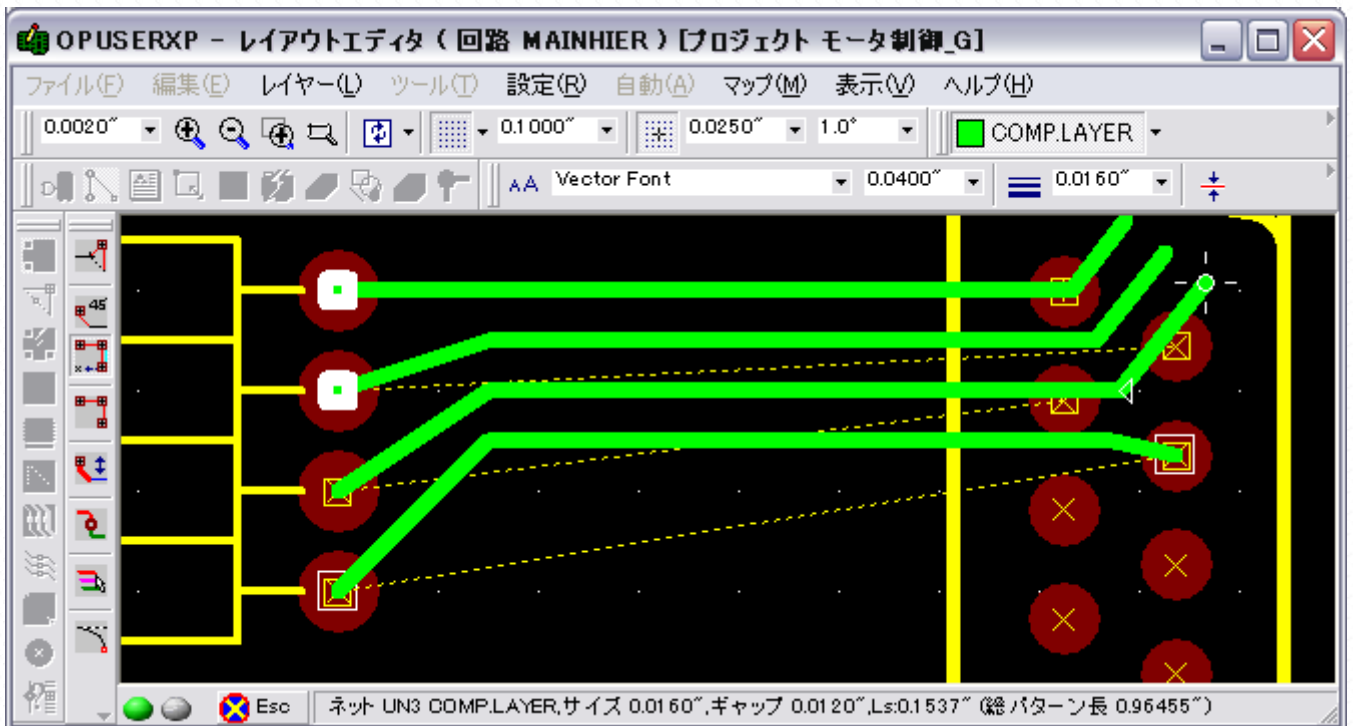
これから作成するパターン同士の間隔を決定します



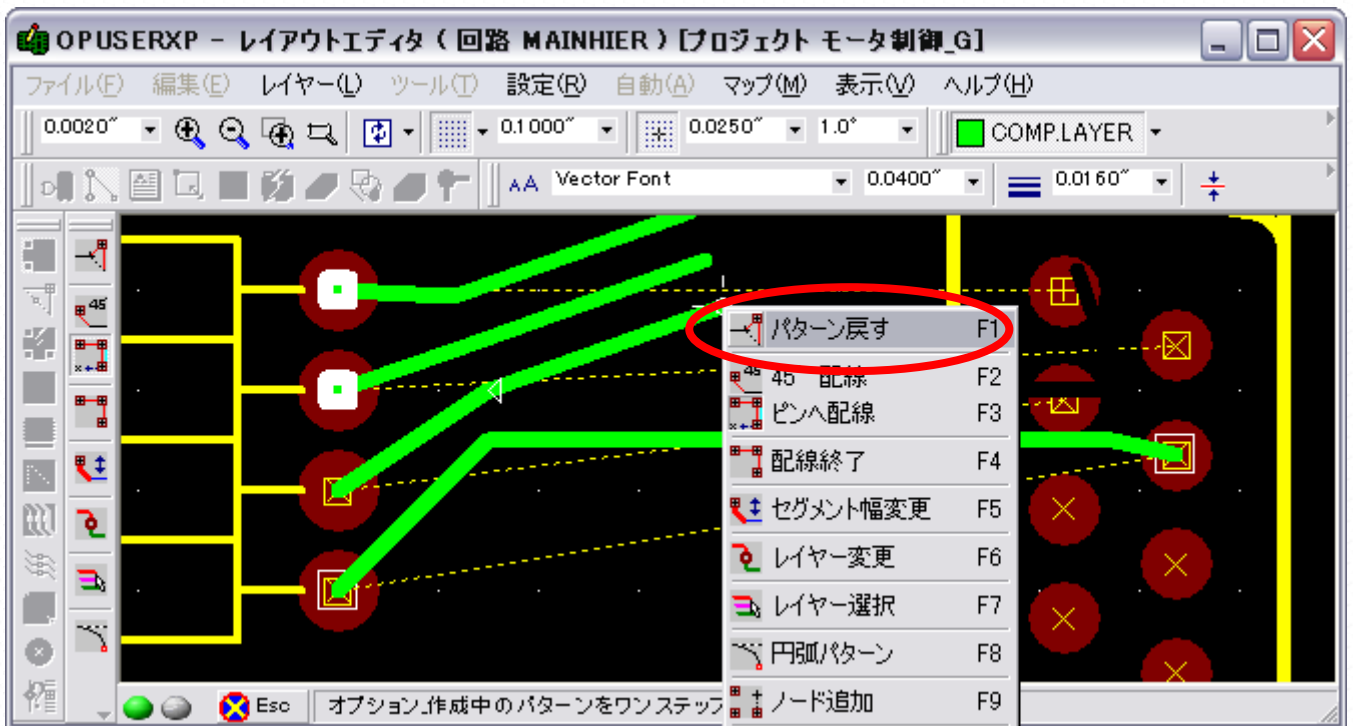
承認をクリックすると、囲った4つのピンからパターンが伸びた状態で、カーソルにセットします。その中でも、現在選択されているパターンの接続先が白くハイライトされていますので、先ずはその箇所へ接続します。



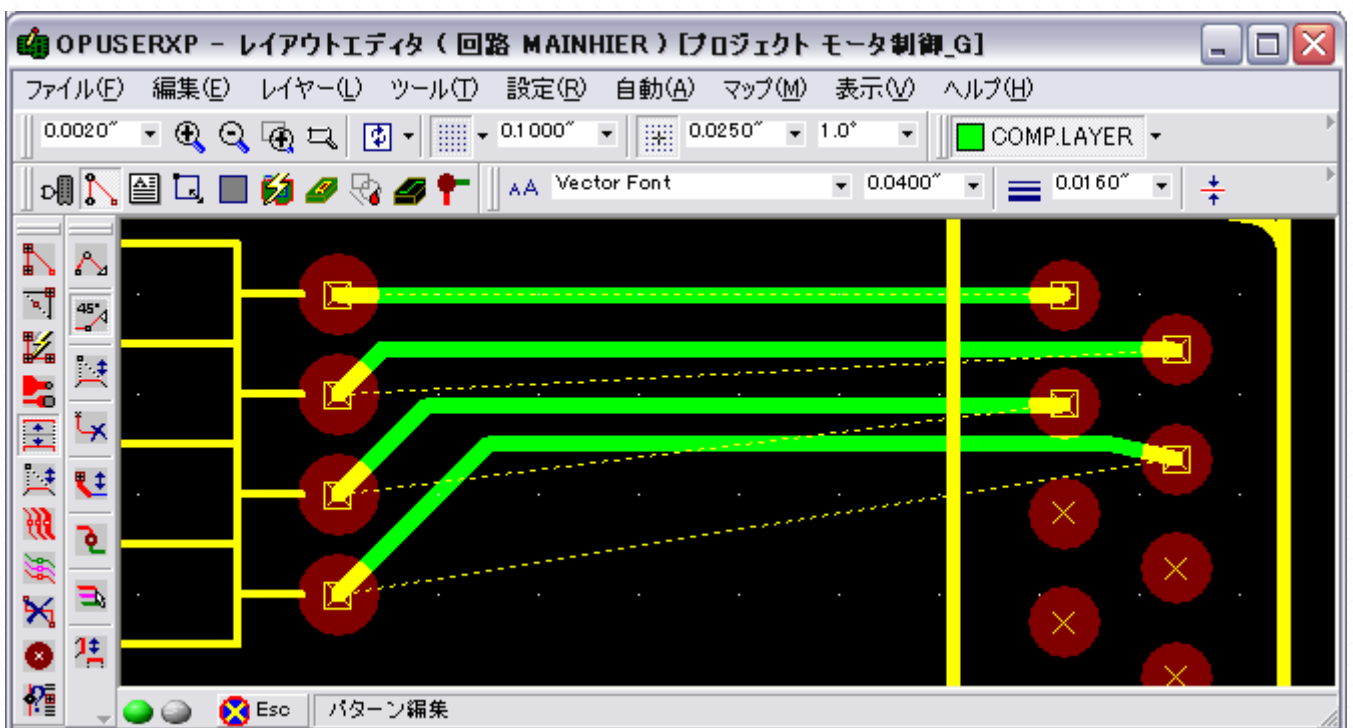
1箇所接続すると次のラインへと作業が移ります。



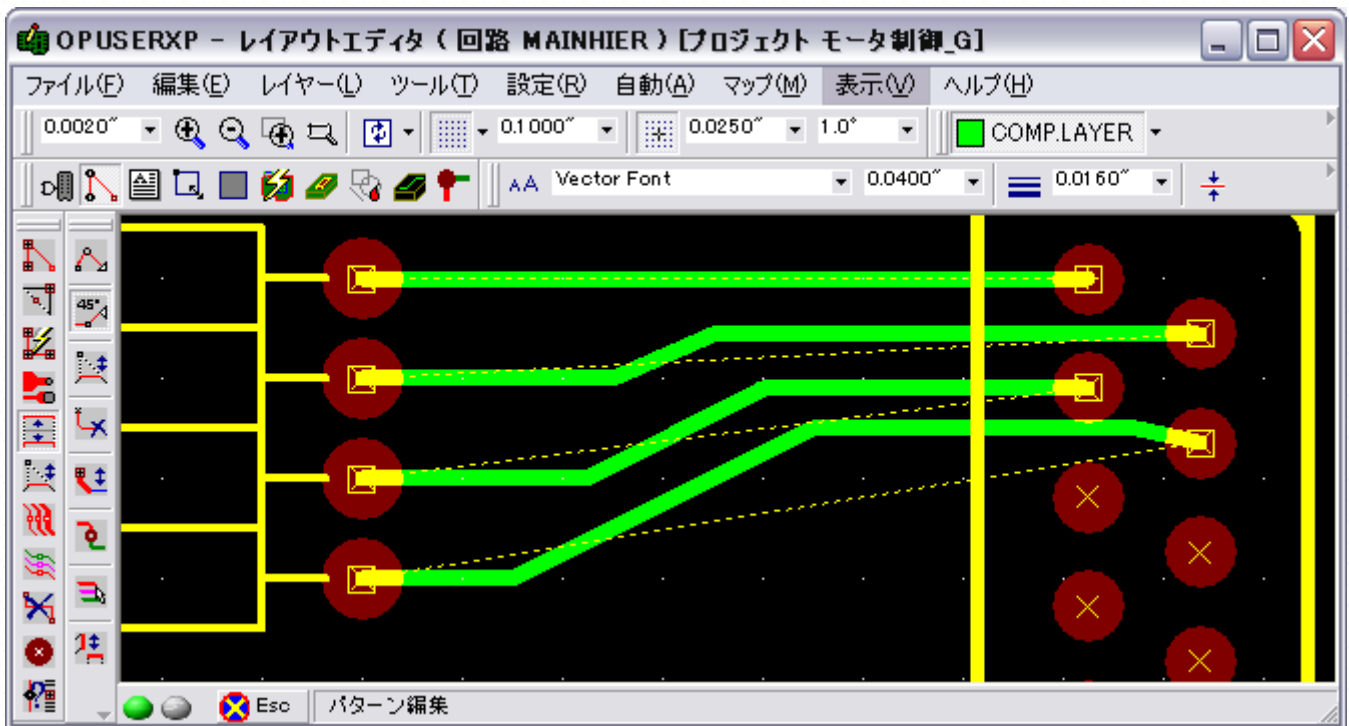
その際“F1：配線戻す”が使用できます



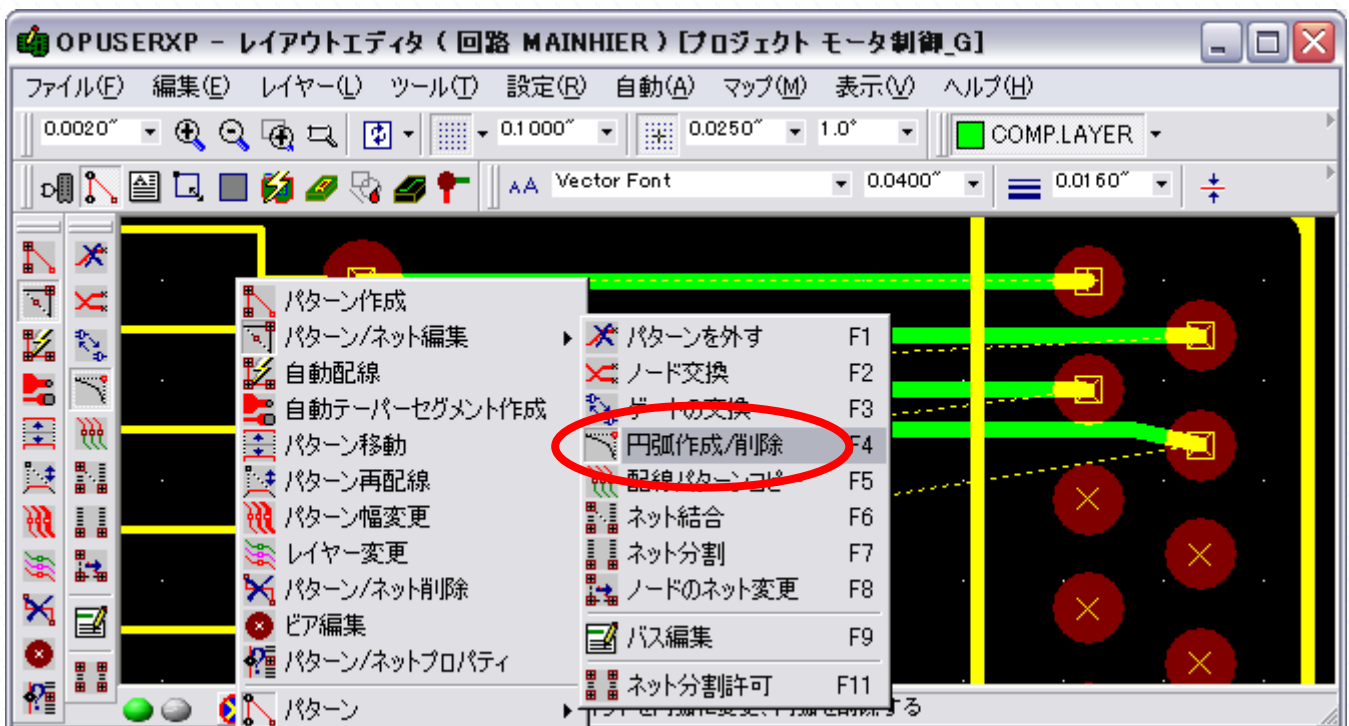
目的のパターンを作成します



また下図のように配線を作成した後、



“円弧作成/削除”を使用してパターンを選択すると、



次の様にパターンが編集されます。

